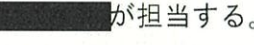


市長	副市長	建設環境部長	環境保全課長	副主幹 (生活環境係長)	生活環境係員	担当
						

合議

施行日 決裁日 起案日 6/17

首都圏CCS事業者との打合せ報告書

日 時	令和8年6月16日（火） 13:00～13:40	
場 所	都市整備課協の打合せスペース	
出席者	首都圏CCS(株)	地域連携グループ  社会共生ユニット 渉外・広報グループ 
	山武市	環境保全課：土屋課長【記録】、谷副主幹
資 料	別添のとおり	
内 容		
首都圏CCS(株)からの申し入れにより、CCS事業について打合せを行いました。		
議題及び顛末		
①首都圏CCSの体制について		
【首都圏CCS(株)の説明】		
◆ 渉外・広報グループの新設		
◆ 情報発信等の担当部署として新設した。		
◆ 市町議会一般質問の答弁案の確認は、これまで地域連携グループの  が担当していたが、今後は、渉外・広報グループの  が担当する。		
②「うみとみらい」の設置について		
【首都圏CCS(株)の説明】		
◆ 地域住民との対話の場、PRセンターとして設置する。		
◆ 6月27日（土）から一般開放の予定。		
◆ 展示スペースに事業には、CCSに精通する派遣職員1名、事務室に職員1名の合計2名を配置する。		
◆ 		
③自主的な環境影響評価（ESIA）の実施状況について		
【首都圏CCS(株)の説明】		
◆ INPEXグループが行う事業では、国連機関が定める基準に準じた自社基準にて、判定・評価・対策を実施している。		
◆ CCS事業は、環境影響評価制度（環境アセスメント）の対象事業ではないが、これにならないESIA（環境社会影響評価）を行う。		
◆ 		

④試掘作業開始◆試掘作業の進捗状況の周知方法に関するご相談

【首都圏CCS(株)の説明】

- ◆別紙「うみとみらい通信」を定期発行し、試掘区域に隣接する市町の各家庭に配布したいと考えているが、配送方法について助言をいただきたい。
- ◆各市町での配送手法を聞き取り、実施方法を決定する。

【市からの確認事項】

- ◆3月20日に開催した住民説明会では、開催案内を区長回覧により周知している。
市民への速やかな情報提供として全戸配布を考えたい。
- ◆配送方法として2点提示する。
 - 1点目は区長回覧で、回覧に要する期間を考慮のうえ、区長へ必要部数を郵送する。
 - 2点目は、市広報紙と同梱による配送。広報紙は、毎月1日に発行しており、シルバー人材センターが3日間程で全戸配布している。この場合、広報紙への折込みではなく、包装フィルム袋に同梱となる。どちらも、必要経費が生じるが、貴社に負担をお願いする。
シルバー人材センターとの契約は、相対でお願いする。
- ◆第1号の発行時期はいつ頃を想定しているか。
→6月末の発行で、7月上旬には配布をしたい。
- ◆発行時期といつまで発行するのか。
→毎月1回の発行。

■創刊にあたってのごあいさつ

平素より当社の事業にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび当社では、千葉県九十九里沖において、二酸化炭素の地中貯留の可能性を確認するための評価井掘削を行うこととなりました。

今回の作業は、将来の脱炭素社会の実現に向けた基礎的な調査の一つとして進めるものです。掘削にあたっては、安全を第一に考え、地域の皆様の生活や環境に配慮しながら、慎重に進めてまいります。

こうした取組を進めるにあたり、地域の皆様にきちんとお伝えし、ご理解をいただきながら進めていくことが何よりも大切であると考え、このたびお手紙を差し上げました。

また、本事業についてご不安やご心配を感じられる方もいらっしゃるかと思います。今後も丁寧にご説明しながら、皆様のお声を大切に受け止めてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

■掘削作業の概要

本事業では、千葉県九十九里沖において、二酸化炭素（CO₂）を安全に地中へ貯留できるかどうかを確認するため、評価井（九十九里沖J-1およびJ-2）の掘削を行います。

評価井とは、地下の地層の状態を詳しく調べるための調査用の井戸であり、海の下の地層の広がりや性質（CO₂をためやすいか、外に広がりにくいかなど）を確認することを目的としています。

今回の掘削では、九十九里沖のそれぞれ異なる場所に2本の井戸を掘り、地下の状況を比較しながら調べていきます。これにより、将来の活用の可能性について検討するための基礎的なデータを集めてまいります。



■掘削作業スケジュール

作業	現在	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
九十九里沖J-1	計画	掘削	掘削	掘削	掘削			
九十九里沖J-2	計画					掘削	掘削	掘削

■評価井掘削作業の安全祈願祭ならびに「うみとみらい」開所式

このたび、評価井掘削作業の開始に先立ち、作業の安全を祈願するための安全祈願祭を執り行いましたので、お知らせいたします。当日は、九十九里片貝皇産霊神社の内山宮司により神事が行われ、掘削作業が無事故・無災害で進められるよう、関係者一同で安全を祈願するとともに、安全を最優先に取り組む決意を新たにいたしました。

また同日、地域の皆様との対話や情報発信の拠点として整備したコミュニケーションセンター「うみとみらい」の開所式を開催いたしました。今後の掘削作業におきましても、引き続き安全を最優先に、関係法令を遵守しながら、地域の皆様の生活や周辺環境に十分配慮して進めてまいります。

当日写真

当日写真

■うみとみらい CCSコミュニケーションセンター開設

このたび当社では、地域の皆様への情報発信および対話の場として、コミュニケーションセンター「うみとみらい」を開設いたしました。「うみとみらい」という名称には、本地域にとって大切な「海（うみ）」と、これから先の持続可能な社会を象徴する「未来（みらい）」をつなぐ「組」でありたい、との思いを込めております。本センターでは、当社が取り組む事業の内容や安全対策等について、分かりやすくご紹介するとともに、地域の皆様との双方向のコミュニケーションの場として活用してまいります。お近くにお越しの際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



住所：〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98 地先
(海の駅 九十九里 第二駐車場)

開館時間：10時～16時

休館日：火曜日、水曜日、年末年始



※Confidential

情報区分： B

九十九里沖評価井掘削に向けた打合せ資料

2026年6月

首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット 渉外・広報グループ

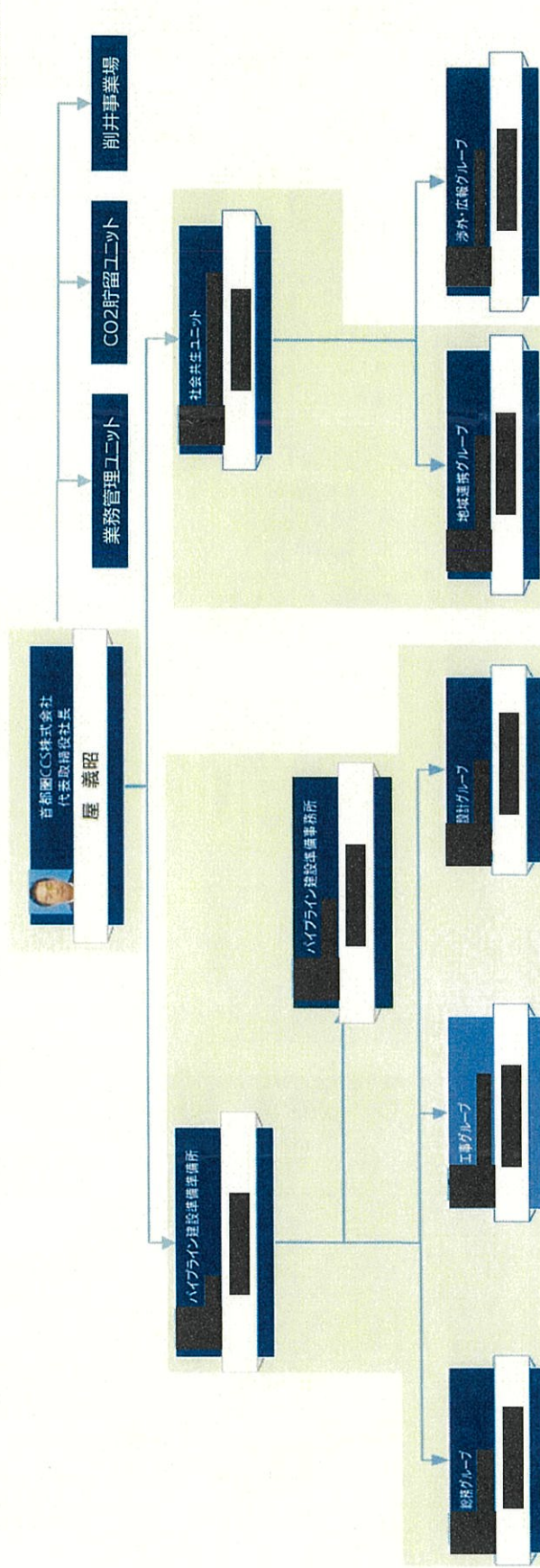


アジェンダ

- ▶ 首都圏CCSの体制について
- ▶ 「うみとみらい」の設置について
- ▶ 自主的な環境影響評価（ESIA）の実施状況について
- ▶ 試掘作業開始・試掘作業の進捗状況の周知方法に関するご相談（別紙）



首都圏CCS (株) 組織図 (2026年6月現在)



所管業務

- ・ パイプライン用地の地元交渉
- ・ パイプライン建設にかか
る関係官庁との連絡・調整

所管業務

- ・ パイプライン建設工事に
かかる実施計画の立案・実施
- ・ 総務グループとの連携
による地元自治体・住民へ工事・調査内容の周知

所管業務

- ・ パイプライン施設の技術
評価・検討・調査・開発
- ・ パイプライン施設の維持・
管理計画の立案

所管業務

- ・ 漁港・漁業関係者との
連携・調整
- ・ 再昇圧設備用地の地
元交渉
- ・ 再昇圧設備建設にか
かる関係官庁との連
絡・調整

所管業務

- ・ 広報・情報発信
(メディア対応等)
- ・ METI・千葉県との調整
- ・ 「うみとみらい」運営等
- ・ 地元貢献策の検討

「うみとみらい」の設置について

- 本年7月から掘削作業がはじまるにあたり、地域住民の皆さまとの対話の場として、「うみとみらい」(PRセンター)を設置いたしました。
- 同施設は、6月27日(土)より一般開放する予定です。

所在地



建物外観



展示スペース



事務室



住所：千葉県山武郡九十九里町小関2347-98番地先
 開館時間：10時～16時
 休館日：火曜日、水曜日、年末年始

自主的な環境影響評価（ESIA）の実施状況について

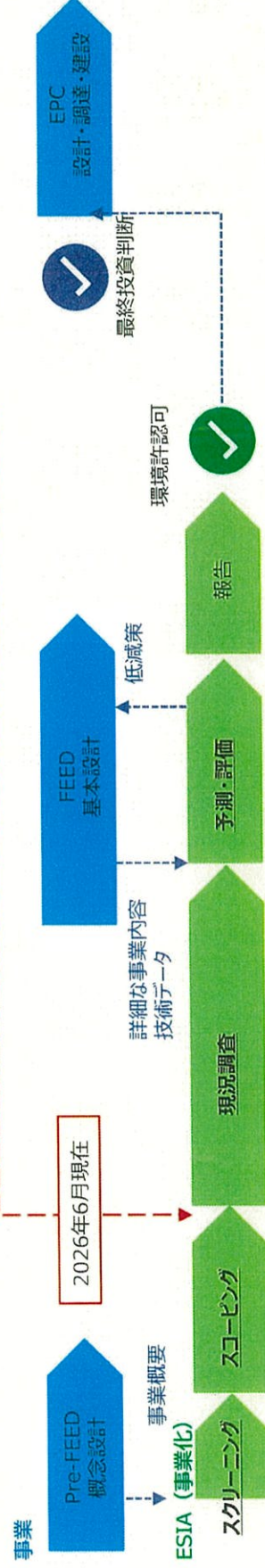
- ▶ 当社含むINPEXグループが行う事業での環境や社会への影響は、国連機関が定める基準に準じた自社基準にて判定・評価・対策を行います。
- 本事業でも、当該基準に基づき環境社会影響評価（Environmental and Social Impact Assessment；以下、ESIA）の要否を判定のうえ、必要に応じて評価のうえ緩和策を講じる等、適切に対応します。

試掘に関するESIA(実施済み)

- ✓ 対象スコープ：海洋掘削
- ✓ 委託先：[REDACTED]
- ✓ 対象範囲：掘削地点および周辺海域(油の流出など事故が発生した際に影響が及ぶ可能性のある海域を含む)
- ✓ 成果：適切な管理策を前提に、重大な環境・社会影響は生じないと評価

事業化後に関するESIA(実施中)

- ✓ 対象スコープ：パイプライン(ステーション含む)、陸上昇圧設備、海洋設備
- ✓ ESIA実施項目のスクリーニング・スコープ策定に必要な情報の事前調査は完了。現在、ESIAスコープを関係ステークホルダーに周知中。
- ✓ 周知完了後、2027年3月までに委託先である[REDACTED]が調査・評価を実施。
- ✓ [REDACTED]



首都圏CCS株式会社

事業化後*に関するESIA

Copyright © 2026 Metropolitan CCS, LTD. All rights reserved.

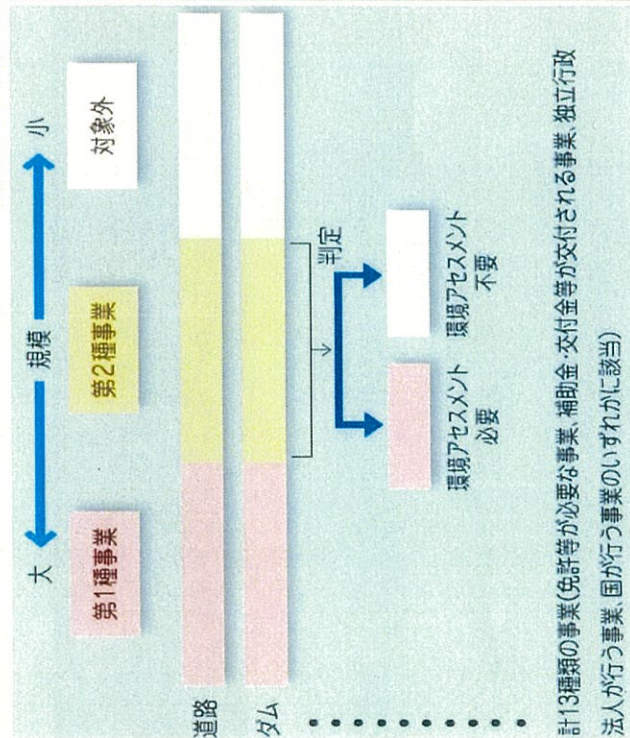
*設備の建設・運転段階の評価

(参考) 日本国内における環境影響評価制度



- 根拠法は「環境影響評価法」。
- 環境影響評価法の対象は、道路、ダム、鉄道など13事業種。⇒CCS事業は環境影響評価法の対象事業ではない。
- 環境影響評価法における「環境影響評価」の定義(同法第2条)とは、土木工事・建設工事の実施そのものに加え、当該事業により整備される施設・設備等が存在し、または供用されることによって生じる影響を含め、事業全体が環境に及ぼす影響を評価するものと解される。

(参考) 環境影響評価法の対象事業一覧



	第1種事業 (環境アセスメントを必ず行う事業)	第2種事業 (環境アセスメントが必要かどうかを個別に判断する事業)
1 道路	すべて	—
高速自動車国道	4車線以上	4車線以上・7.5km以上・10km未満
首都圏連絡道路など	4車線以上・10km以上	4車線以上・7.5km以上・10km未満
一般国道	幅員6.5m以上・20km以上	幅員6.5m以上・15km以上・20km未満
林道	—	—
2 河川	—	—
ダム	—	—
放水路、湖沼開発	浸水面積100ha以上	浸水面積75ha以上・100ha未満
放水路	土地改良面積100ha以上	土地改良面積75ha以上・100ha未満
3 鉄道	—	—
新幹線鉄道	—	—
鉄道、軌道	すべて	—
4 飛行場	長さ10km以上	長さ7.5km以上・10km未満
飛行場	滑走路長2,500m以上	滑走路長1,875m以上・2,500m未満
5 発電所	—	—
水力発電所	出力3万kW以上	出力2,25万kW以上・3万kW未満
火力発電所	出力15万kW以上	出力11,25万kW以上・15万kW未満
地熱発電所	出力1万kW以上	出力7,500kW以上・1万kW未満
原子力発電所	すべて	—
太陽電池発電所	出力4万kW以上	出力3万kW以上・4万kW未満
風力発電所	出力5万kW以上	出力3,75万kW以上・5万kW未満
6 廃棄物最終処分場	面積30ha以上	面積25ha以上・30ha未満
7 埋立・干拓	面積50ha超	面積40ha以上・50ha以下
8 土地地区画整理事業	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満
9 新住宅市街地開発事業	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満
10 工業団地造成事業	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満
11 新都市基盤整備事業	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満
12 鉄道業務団地造成事業	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満
13 宅地の造成事業(*1)	面積100ha以上	面積75ha以上・100ha未満

参考資料

首都圏CCS事業の概要

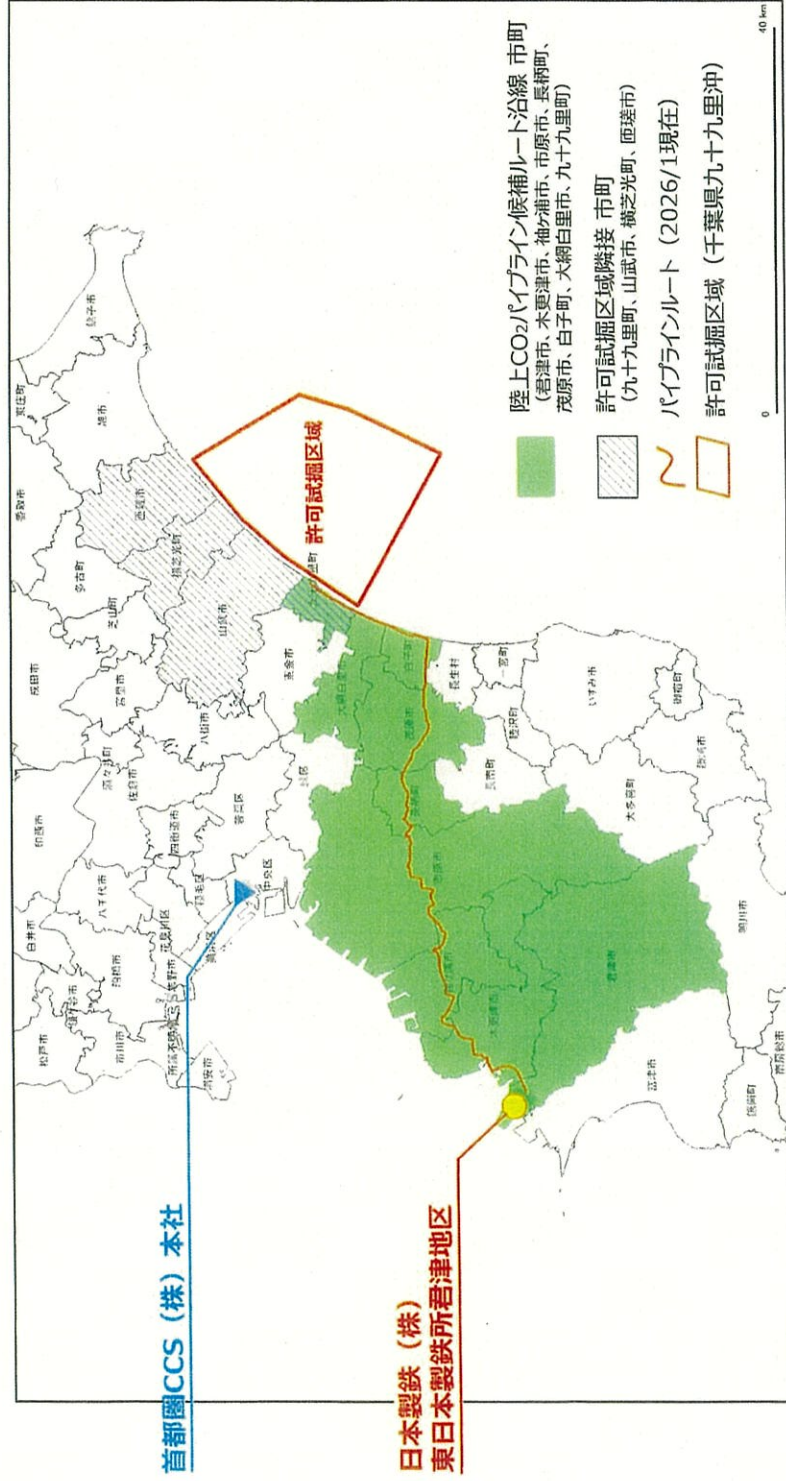
大都市圏の千葉・京葉臨海コンビナートから複数産業を排出源とするCO₂を回収
パイプライン*で輸送の上、同一県内の千葉県外房沖の海域に貯留する地産地消CCS事業

CO₂回収能力 120万t/年 (当初)
⇒500万t/年 (拡張)
CO₂分離回収設備



*陸上CO₂パイプライン・貯留エリアともに地元関係者の十分な理解を得た上で推進することが大前提。

陸上CO₂パイプライン候補ルートならびに許可試験掘区域に隣接する市町



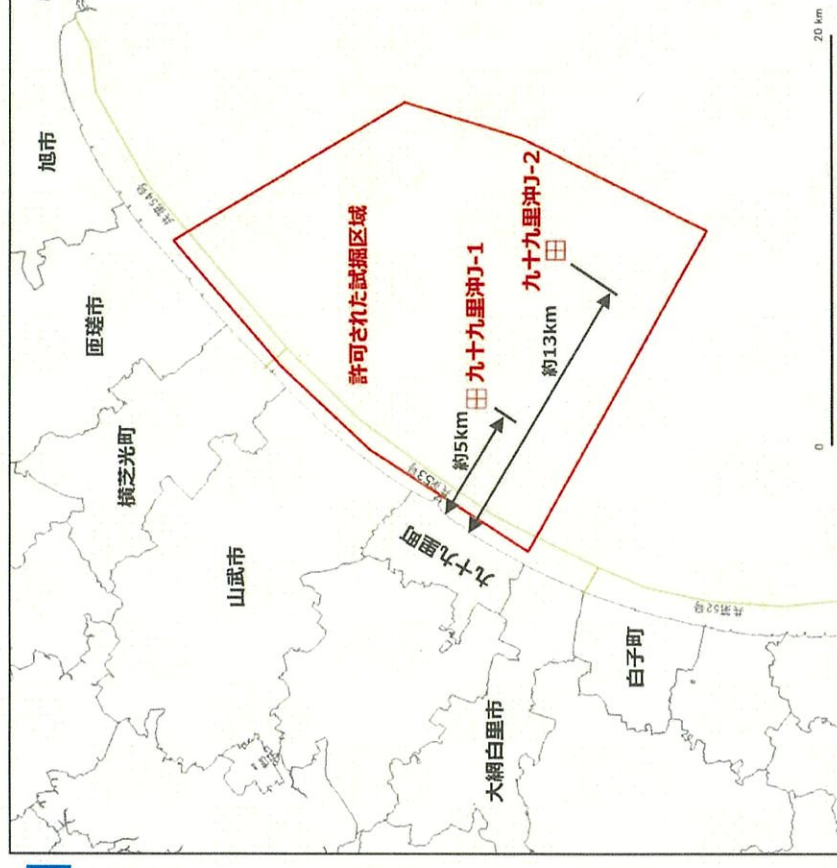
お示しするルートにて調査設計を実施中でございますが、調査結果により、最終的なルートは変更する可能性があります。最終的には通過地区様からのご理解を得て決定する予定です。

九十九里沖での評価井掘削計画

<試験の概要>

坑井位置	千葉県山武郡九十九里町沖合
坑井名	試験1坑目：九十九里沖J-1 試験2坑目：九十九里沖J-2
期間（予定）	試験1坑目：4カ月間 試験2坑目：3カ月間 いずれもリグアップ及びリグダウン期間を含む。
目的層*1	上総層群大原層の遮蔽層並びに浪花層から黒滝層までの貯留層及び遮蔽層
予定深度	試験1坑目：深度約1,900メートル 試験2坑目：深度約1,600メートル
試験の方法	ジャッキアップ型掘削バージを用いて掘削する。九十九里町沖合約5キロメートルの位置にて試験1坑目を掘削した後、掘削バージは沖合約13キロメートルの位置に移動し、試験2坑目を掘削する。
周囲への安全措置	掘削バージの設置・掘削の作業前には周辺海域で操業する漁業関係者等に作業内容と留意事項を説明するとともに、掘削中は、周辺を航行する船舶が掘削バージに誤って接近しないよう警戒船を配置する措置を講ずる。

*1 試験において主にCO2の貯留・遮へい能力を評価する対象となる地層のこと



海上に着底式のやぐら（掘削装置「ジャッキアップリグ」という）を設置し、海底面下1,600～1,900 mまで坑井を掘削、CO₂を安全に貯留できる地下構造であるか否かを調査します



掘削装置（リグ）イメージ
（写真素材：INPEX提供）

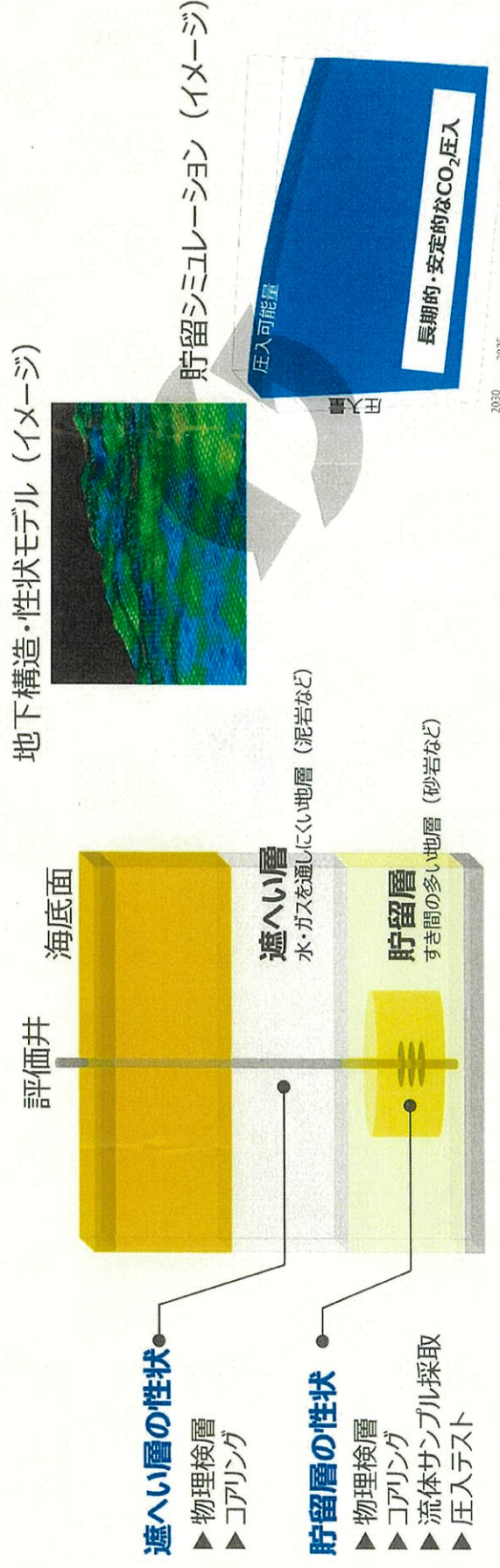
- 水深：約20～30 m
- 時期／掘削期間（予定）
 - 九十九里沖J-1：2026年7月から同年10月（4ヶ月）
 - 九十九里沖J-2：2026年10月から2027年1月（3ヶ月）
- リグの大きさ
 - ✓ 全長：約90 m（ヘリデッキ含む）
 - ✓ 全幅：約65 m
 - ✓ 高さ（海水面上）：約120 m

* リグの設置/搬出期間を含む。

* 掘削開始には法令で定める許認可が条件となる。

掘削後の地層評価

- 安全にCO₂が貯留できること、及び貯留可能性を把握するために、対象貯留層・遮へい層の性状を確認します。
 - ✓ 取得するデータ及び試料：物理検層データ、コア試料、地下流体試料、地層圧力データ等
- 得られた各種データ・試料の分析結果に基づき、地下構造・地層性状の3次元モデルを構築し、圧入流体の移動をシミュレーションすることにより、長期間安定して貯留可能となるCO₂圧入量を評価します。

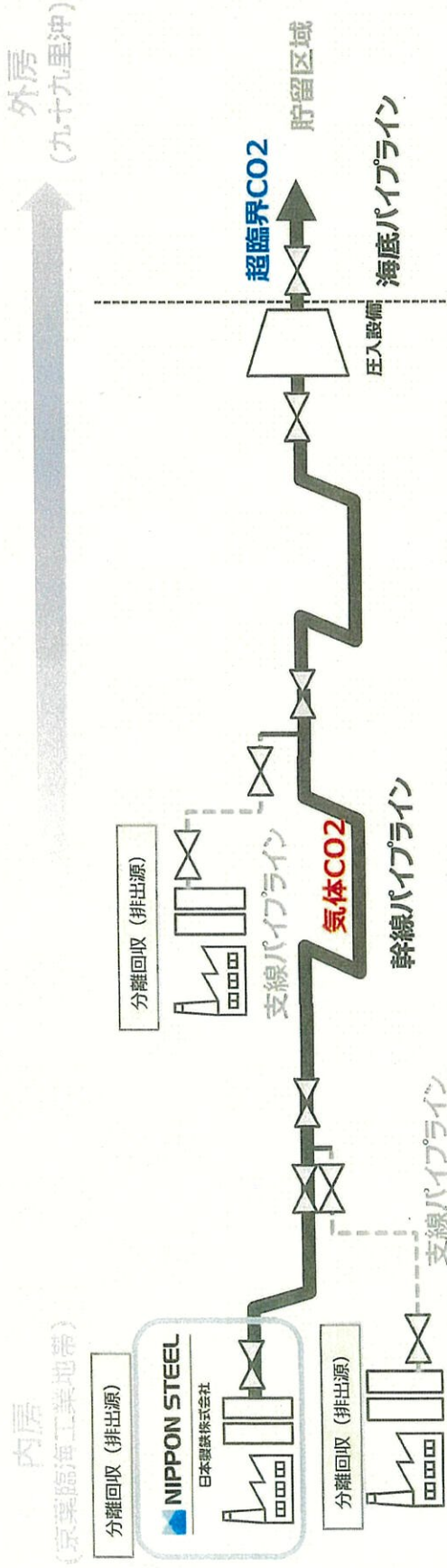


陸上CO₂パイプラインの調査作業

■ 京葉臨海工業地帯(内房)と貯留区域(九十九里沖)を結ぶ、約80kmのCO₂パイプラインの調査検討中です。

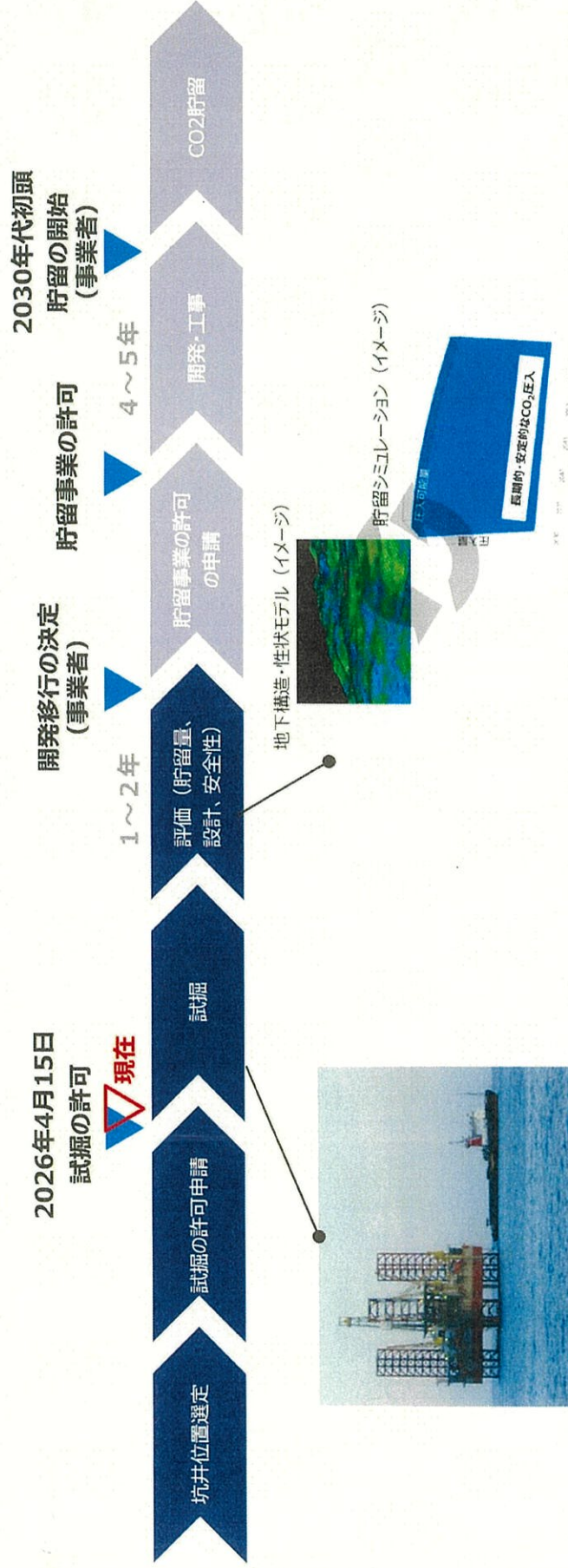
■ 以下の各種検討を実施しております。

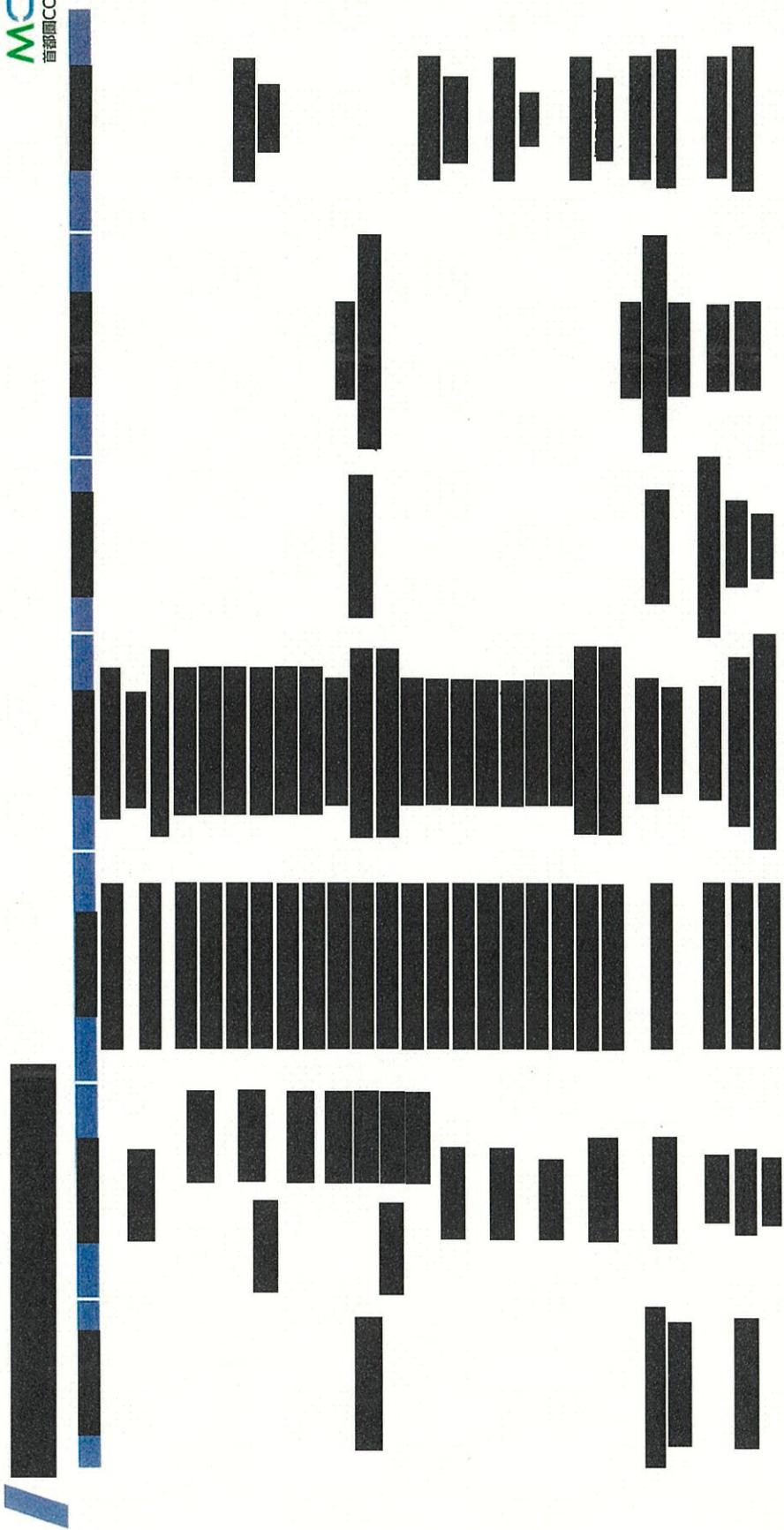
- ✓ 圧力・温度等の運転仕様検討、パイプラインの仕様
- ✓ 埋設物調査、交通量調査、渋滞シミュレーション、地盤調査等を実施
- ✓ 工事による交通への影響、安全性に配慮した敷設ルート等



試掘から貯留に至る評価・許認可プロセスの全体像

- これから実施する試掘およびその評価結果を踏まえ、事業化の可否について判断を行います。
- 貯留区域における検討と並行して、陸上CO₂パイプラインの調査・設計を実施いたします。





以下

■ 創刊にあたってのごあいさつ

平素より当社の事業にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび当社では、千葉県九十九里沖において、二酸化炭素の地中貯留の可能性を確認するための評価井掘削を行うこととなりました。今回の作業は、将来の脱炭素社会の実現に向けた基礎的な調査の一つとして進めるものです。掘削にあたっては、安全を第一に考え、地域の皆様の生活や環境に配慮しながら、慎重に進めてまいります。こうした取組を進めるにあたり、地域の皆様にきちんとお伝えし、ご理解をいただきながら進めていくことが何よりも大切であると考え、このたびお手紙を差し上げました。

また、本事業についてご不安やご心配を感じられる方もいらっしゃるかと思います。が、今後も丁寧にご説明しながら、皆様のお声を大切に受け止めてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 掘削作業の概要

本事業では、千葉県九十九里沖において、二酸化炭素（CO₂）を安全に地中へ貯留できるかどうかを確認するため、評価井（九十九里沖J-1およびJ-2）の掘削を行います。

評価井とは、地下の地層の状態を詳しく調べるための調査用の井戸であり、海の下の地層の広がりや性質（CO₂をためやすいか、外に広がりにくいかなど）を確認することを目的としています。

今回の掘削では、九十九里沖のそれぞれ異なる所に2本の井戸を掘り、地下の状況を比較しながら調べていきます。これにより、将来の活用の可能性について検討するための基礎的なデータを集めてまいります。



■ 掘削作業スケジュール

井戸名	作業	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
九十九里沖J-1	動員	現在							
	掘削								
	弁圧入試験								
	廃坑作業								
九十九里沖J-2	掘削								
	掘削								
	掘削								

■評価井掘削作業の安全祈願祭ならびに「うみとみらい」開所式

このたび、評価井掘削作業の開始に先立ち、作業の安全を祈願するための安全祈願祭を執り行いましたので、お知らせいたします。当日は、九十九里片貝皇産霊神社の内山宮司により神事が行われ、掘削作業が無事故・無災害で進められるよう、関係者一同で安全を祈願するとともに、安全を最優先に取り組む決意を新たにいたしました。

また同日、地域の皆様との対話や情報発信の拠点として整備したコミュニケーションセンター「うみとみらい」の開所式を開催いたしました。今後の掘削作業におきましても、引き続き安全を最優先に、関係法令を遵守しながら、地域の皆様の生活や周辺環境に十分配慮して進めてまいります。

当日写真

当日写真

■うみとみらい CCSコミュニケーションセンター開設

このたび当社では、地域の皆様への情報発信および対話の場として、コミュニケーションセンター「うみとみらい」を開設いたしました。「うみとみらい」という名称には、本地域にとって大切な「海（うみ）」と、これから先の持続可能な社会を象徴する「未来（みらい）」をつなぐ双組でありたい、との思いを込めております。本センターでは、当社が取り組む事業の内容や安全対策等について、分かりやすくご紹介するとともに、地域の皆様との双方向のコミュニケーションの場として活用してまいります。お近くにお越しの際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



住所：〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98 地先
(海の駅 九十九里 第二駐車場横)

開館時間：10時～16時

休館日：火曜日、水曜日、年末年始

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]
	[REDACTED]
[REDACTED]	[REDACTED]